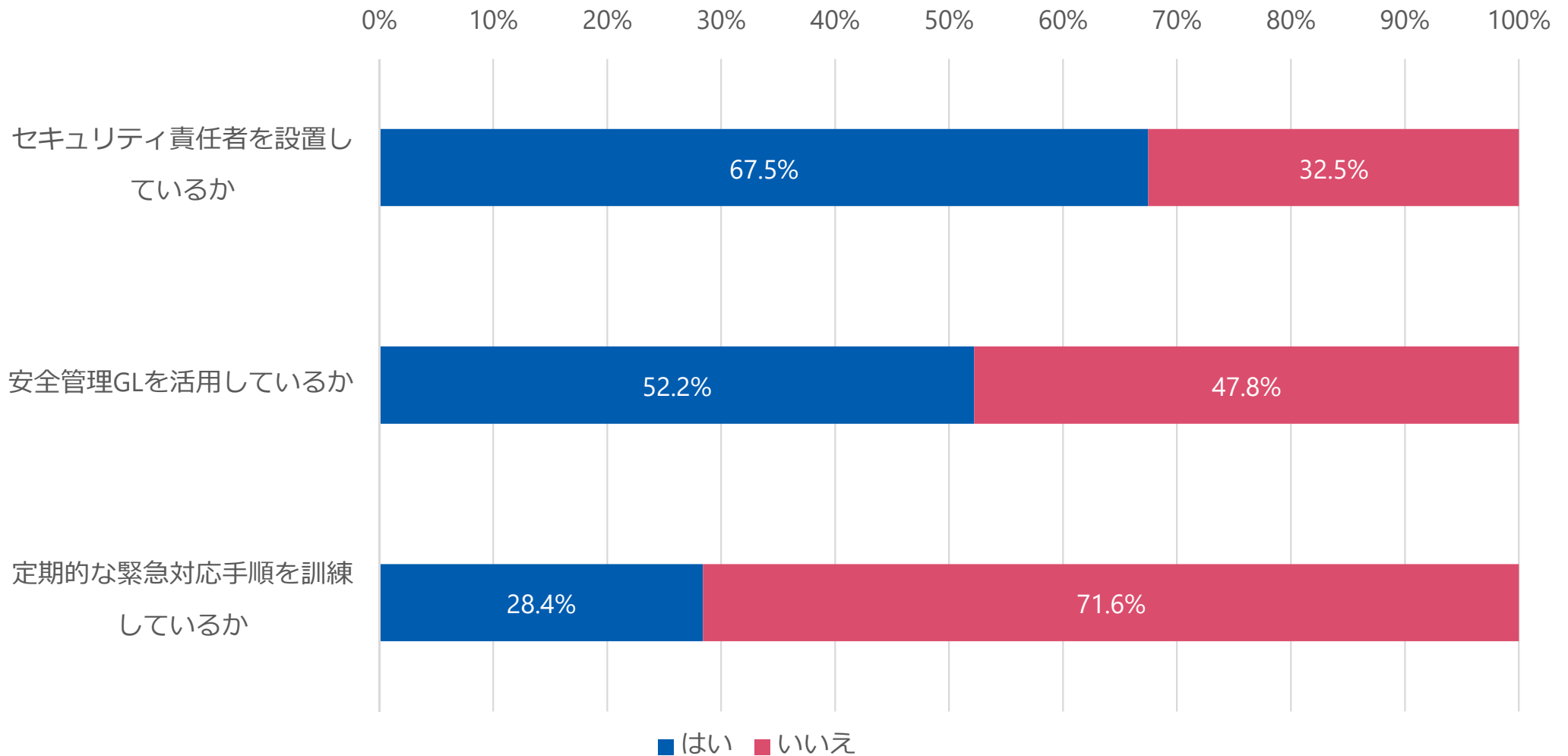


「病院における医療情報システムのバックアップデータ及びリモートゲートウェイ装置に係る調査」の結果について

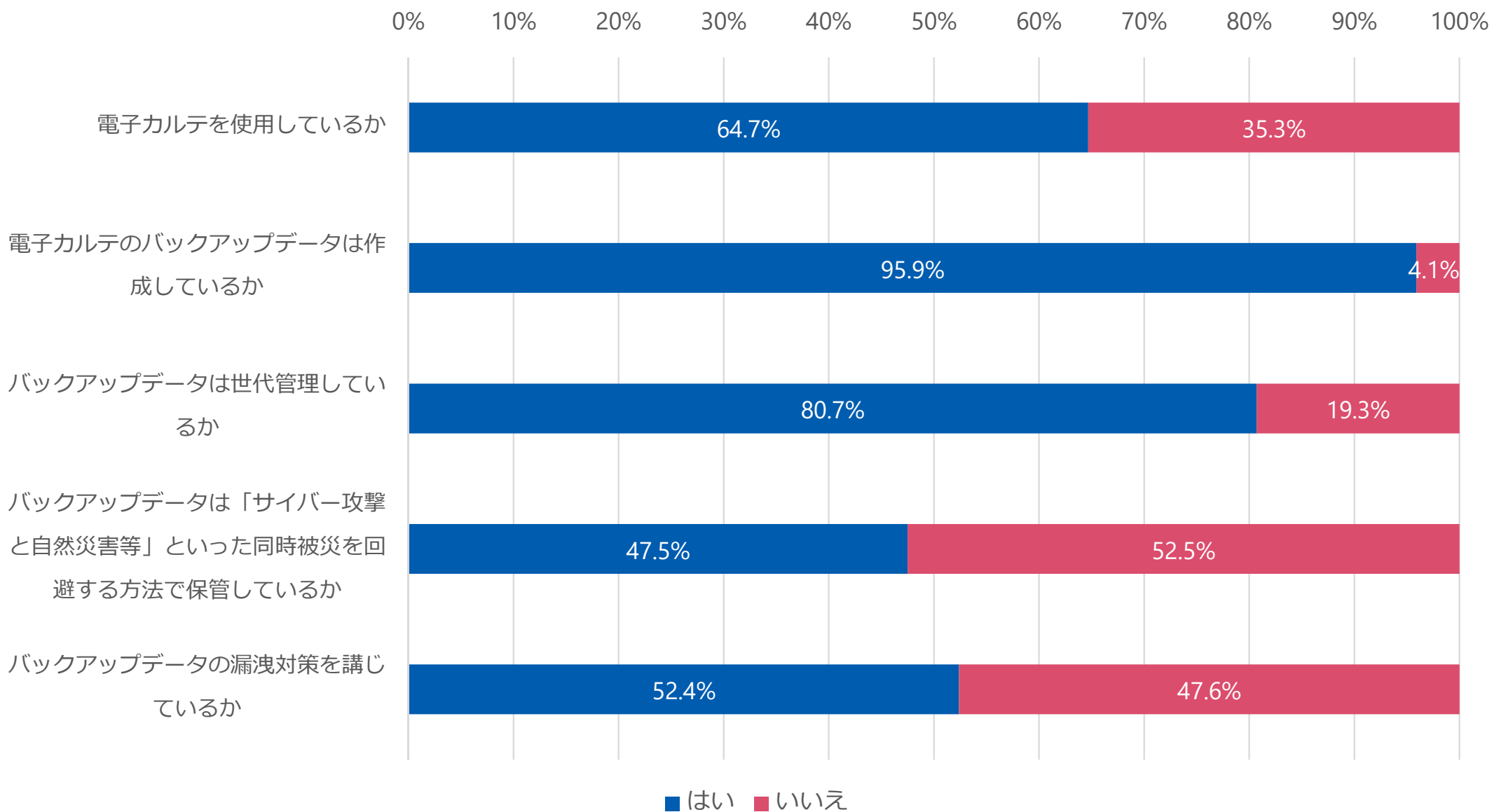
調査結果について

調査対象医療機関数：8,252施設

有効回答数：6,216施設（回答率：75.3%）

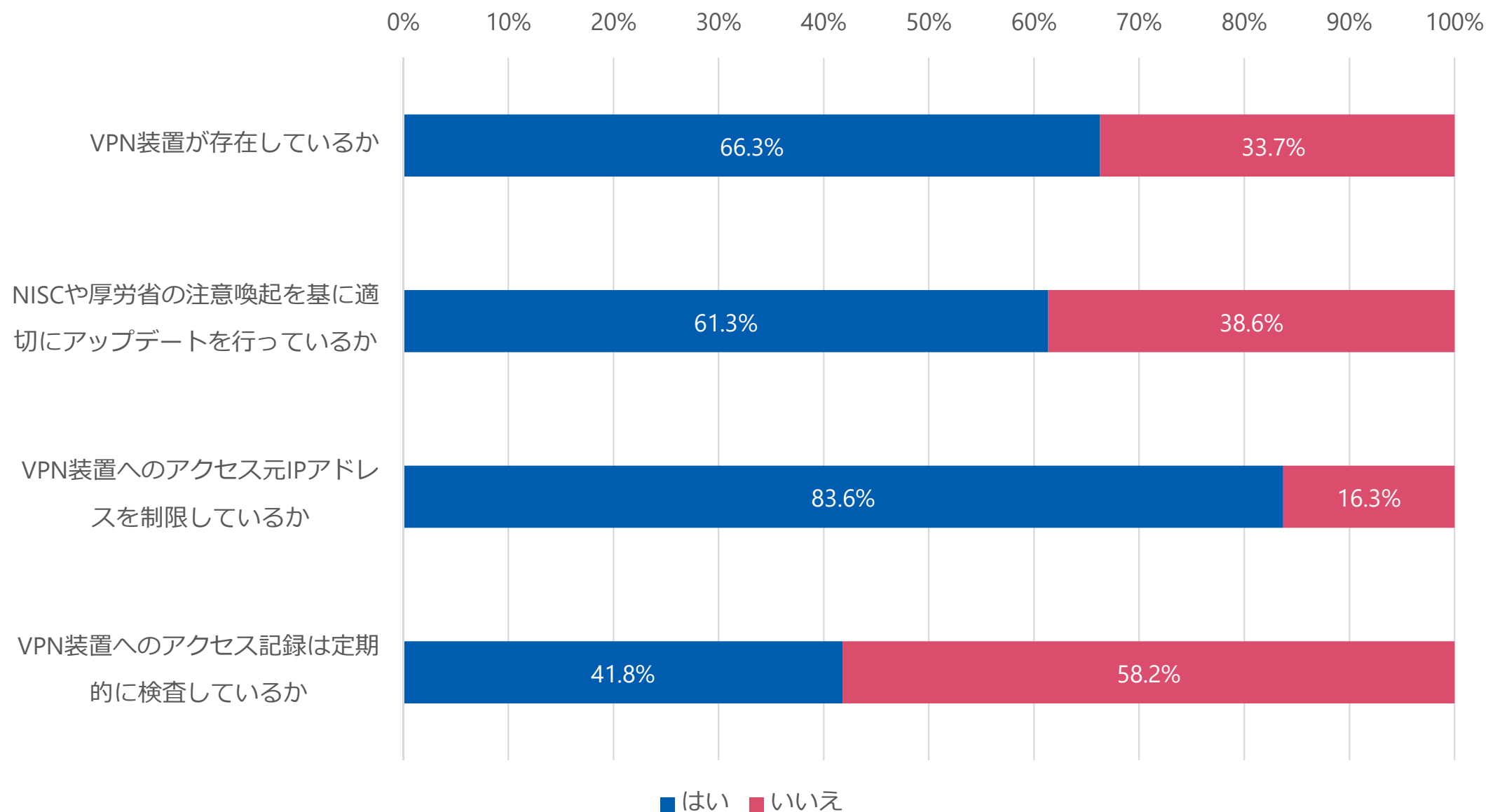


調査結果について（電子カルテシステムのバックアップについて）



※バックアップデータ作成に関する質問（2項目）以降については、電子カルテを導入している64.7%（4,020施設）が母数となっている。 3

調査結果について（リモートゲートウェイ装置について）



※VPN装置のアップデートに関する質問（2項目）以降については、VPN装置が存在する66.3%（4,120施設）が母数となっている。 4

病院における医療情報システムのバックアップデータおよび リモートゲートウェイ装置に係る調査（概要）

第28回重要インフラ専門調査会
厚生労働省提出
資料より抜粋

目的

医療機関に対するランサムウェアなどのサイバー攻撃が増加し、長期にわたり診療が停止した事例等が確認されていることから、病院におけるランサムウェアのリスクを把握するとともに、早急に長期に診療が停止することがないよう有効な対策の実施を促すため、病院が保有する医療情報システムの保守等に用いられるリモートゲートウェイ装置の有無とそのアップデート状況及び電子カルテシステムのバックアップ保持の実態についての調査を行う。

調査方法・対象

- G-MISを用いて、リモートゲートウェイ装置及びバックアップ保持の実態に関する調査を実施する。（問数は10～15問程度）
- 調査対象は、G-MIS IDが付与されている、約8,300の病院。

スケジュール

調査期間：令和4年1月28日～令和4年2月14日、令和4年3月8日～令和4年3月24日（予備）